三重中央開発

感謝祭に3000人以上の来場者

屋台やイベント、施設見学で賑わう

大栄環境グループの三重中央開発（三重県伊賀市、金子文雄社長、☎0595・20・1119）は4月21日、三重リサイクルセンターに地域の住民を招き、「第5回ふれあい感謝祭」を開催した。三重県の鈴木英敬知事や伊賀市の岡本栄市長などが来賓として出席。春の陽気に包まれる中、地元企業や同社社員による屋台や縁日、趣向を凝らしたステージイベント、施設見学ツアーが行われ、3000人以上の来場者で賑わった。

金子文雄社長

オープニングセレモニーで金子社長は、「この感謝祭は、より多くの方々に三重中央開発を知ってもらい、日ごろの感謝の気持ちを表したいとの思いで開催してきた。私達は地域の皆様のご理解のおかげで順調に成長し、来年には創業40周年を迎える。現在、さらに事業を永続させるために『100年企業』の基盤づくりを進めている。これからも見える化を図り、地域にとってなくてはならない企業と言っていただけるよう取り組んでいく」と謝辞を述べた。

体験型施設見学会「てくてくツアー」のようす

ステージイベントには、ものまね芸人の「神奈月」や子どもたちに人気の戦隊ヒーロー、恒例となった地元の太鼓保存会、ダンスチームが登場し、パフォーマンスを披露。ラジオの公開録音や来場者との共同作業による記念モニュメントの制作、モザイクアートの作成など多数のイベントも行われ、会場を盛り上げた。

また、「エコブース」で同社の事業内容を紹介した他、昨年初実施して好評を得た体験型施設見学会「てくてくツアー」も実施。参加者はエネルギープラザなどの施設内を歩いて回り、「こんな機会でないと入れない場所。知らないことがたくさんある」と話しながら、リサイクルの仕組みを楽しく学んだ。

令和元年5月13日
週刊循環経済新聞